

科学者委員会・科学と社会委員会合同広報・科学力増進分科会
(第23期第1回) 議事要旨

1. 日 時 平成26年11月21日(金) 10:00～12:15
2. 場 所 日本学術会議 6階 6-A会議室(2)
3. 出席者 小松 久男委員長、那須 民江副委員長、須藤 靖副委員長、
山川 充夫幹事、嶋田 透委員、福田 裕穂委員、
向井 千秋委員、萩原 一郎委員
日本学術会議事務局企画課：吉住課長、高橋、伊藤、森
審議第二担当：佐藤
日本学術協力財団：南、末次

【配布資料】

- | | |
|------|----------------------------------|
| 資料1 | 科学者委員会・科学と社会委員会合同広報・科学力増進分科会委員名簿 |
| 資料2 | 科学者委員会運営要綱(抄)・科学と社会委員会運営要綱(抄) |
| 資料3 | 広報・科学力増進分科会の運営について(案) |
| 資料4 | 旧広報分科会について |
| 資料5 | 第23期の広報分科会に対する申し送り事項について |
| 資料6 | 『学術の動向』の編集について |
| 資料7 | 第22期科学力増進分科会開催実績 |
| 資料8 | サイエンスカフェ開催実績 |
| 資料9 | 第22期科学力増進分科会高校理科教育検討小委員会開催実績 |
| 資料10 | 高校理科教育検討小委員会からの報告 |
| 資料11 | 『学術の動向』平成26年10月号以降の特集等掲載記事一覧 |
| 資料12 | 旧広報分科会審査・承認済『学術の動向』特集企画案等一覧 |
| 資料13 | 現在寄せられている『学術の動向』特集企画案等一覧 |

【参 考】

- 参考1 サイエンスカフェ関連
- ・今後の対応について
 - ・サイエンスカフェ講師一覧(一部)
 - ・講師登録票(様式)
- 参考2 サイエンスアゴラ2014・シンポジウム
- 参考3 日本学術会議関連イベント スケジュール(H26.10～)

議 事

- (1) 広報・科学力増進分科会の職務について
 - ・資料2について、事務局から説明した。
- (2) 広報・科学力増進分科会の運営について

- ・資料3について事務局から説明した後、審議を行い、分科会での審議内容を踏まえ、原則として公開で行うこととしたが、問題が生じるような場合には一部を非公開とすることとした。
- ・分科会の開催については、年に4回程度（1月、4月総会時、7月、10月総会時）とすることとした。

(3) 役員の選出について

- ・委員長の互選を行い、小松委員（第一部）を選出した。
- ・この分科会は2つの分科会が合併して設置されたことを配慮して、2名の副委員長を置くことが合意された。これを受け小松委員長が旧広報分科会関係の副委員長として那須委員（第二部）、旧科学力増進分科会関係の副委員長として須藤委員（第三部）を指名し、承認された。
- ・小松委員長が幹事として、山川委員（第一部）を指名し承認された。

(4) 旧広報分科会・旧科学力増進分科会からの引継ぎについて

- ・資料5について、那須副委員長が説明した。
- ・資料7～10について、須藤副委員長が説明した。

(5) 『学術の動向』編集委員会委員の委嘱について

- ・本分科会委員は日本学術協力財団に置かれた『学術の動向』編集委員会の委員を兼ねていることが事務局から説明され、続いて日本学術協力財団より同財団の活動等を説明するとともに、『学術の動向』編集委員会委員の委嘱を行った。

(6) 『学術の動向』への編集協力について

- ①資料6について、那須副委員長が説明した。

- ②編集方針について意見交換が行われ、以下の方針を決定した。

- ・『学術の動向』は文理のバランスのとれた編集とする。
- ・表紙については、特集内容に見合う風景、数値データ、人物（歴史上の人物を含む）を、原則として、特集1の企画提案者に案の提出を願い、特集の執筆を依頼する際に、同時に表紙案の検討依頼を行う。
- ・表紙、表紙の解説及び目次については、チェックの観点から、旧広報分科会の委員を中心に確認した上で校了とする。
- ・編集後記については、委員全員が交代で担当することとした。

- ③特集のテーマについて審議した結果、次のように決定した。

- ・第22期の広報分科会において仮置きとなっていた平成27年2月号までのテーマを追認した。6月号までのテーマ（予定を含む）は下記のとおり。

(12月号)

- ・特集1：『材料の創製と高機能化を極める』
- ・特集2：『男女共同参画は学問を変えるか？』

(平成 27 年 1 月号)

- ・特集 1 : 『高齢社会の若者論ー労働・福祉・コミュニティを考える』
- ・特集 2 : 『高齢者が安心して暮らせるコミュニティを目指して』

(2 月号)

- ・特集 1 : 『安全な原子力であることの要件ーふくしま原子力事故の教訓』
- ・特集 2 : 『人工降雨による渇水・豪雨軽減と水資源』
- ・特別企画 : 『ノーベル賞』

(3 月号)

- ・特集 1 : 『科学・夢のロードマップ』
- ・特集 2 : 『グローバル化時代における民主的統治とは』

(4 月号)

- ・特集 1 : 『減災の科学を豊かにー多様性・ジェンダーの視点の主流化に向けてー』
- ・特集 2 : 『〈若者〉と法』

(5 月号)

- ・特集 1 : 『自然史標本の承継ー人類の財産を失わないために今なすべきことー』
- ・特集 2 : 『中型高輝度放射光源に期待するこれからの科学・技術』

(6 月号)

- ・特集 1 : 『発電以外の原子力利用の課題と展望』
- ・特集 2 : 『高齢化社会の食と医療ー心身の健康のためにー』

④編集後記の担当

・第 2 2 期の広報分科会において仮置きとなっていた平成 2 7 年 1 月号までの担当委員を追認した。

- ・2 月号以降について、次のように決定した。

- (2 月号) 山川幹事
- (3 月号) 須藤副委員長
- (4 月号) 小松委員長
- (5 月号) 福田委員
- (6 月号) 那須副委員長

⑤第 2 3 期が発足し、新たな体制となったことから、平成 2 7 年 1 月号に、大西会長からの年頭メッセージを掲載することとした。

(7) その他

- ・高校理科教育検討小委員会を置くことについて審議した結果、承認した。
- ・科学技術リテラシー小委員会については、第 2 2 期において一回も開催されなかったことが報告された。

- ・旧広報分科会に関係する委員を2名追加することとし、那須副委員長を中心として人選にとりかかることとした。
- ・旧科学力増進分科会に関係する委員を3名追加することとし、須藤副委員長を中心として人選にとりかかることとした。
- ・次回の分科会を平成27年1月16日（金）10時から開催することとした。